

令和3年4月11日執行

佐野市長選挙選挙公報

佐野市選挙管理委員会

佐野を守り抜く!!

- 1 台風19号からの
早急な復旧を目指します**
 - 河川・道路・公園の復旧を進めます
- 2 女性・子ども・高齢者支援**
 - 高校3年生までの医療費の無料化
 - 出産特別給付金の5万円支給を継続
 - 75歳以上の高齢者に市営バスを無料化
- 3 新型コロナウイルス感染症から
市民を守ります**
 - 佐野市医師会と連携を図りワクチン接種を進めます
 - PCR検査を強化し外来診療を進めます
- 4 大都市からの
移住・定住支援策の充実**
 - 中山間地域の活性化を図ります



無所属

おかべ正英

昭和13年9月22日

82歳

市政の継続と弛まぬ改革を志し全力で挑戦すると同時に
私は4つの約束をさせて戴きます

おかべ正英 プロフィール

- ・ 1938年 佐野市生まれ佐野市育ち 城東中・佐野高等学校卒業
- ・ 1997年 合併後初の佐野市長選当選以来四期歴任
- ・ 佐野市相生町在住 家族 妻
- ・ 好きな言葉 感謝・努力

安全・安心な 地域社会の実現

- ▶ 国と県と市との連携により、治水対策の実施
- ▶ 防災拠点の整備、ミニFM局の開設と防災ラジオの導入
- ▶ 児童、生徒の安全の確保(通学路の整備、防犯灯・防犯カメラ設置の拡大)
- ▶ 高齢者の安全の確保(地域医療体制の維持、地域包括ケアシステムの充実)
- ▶ 高齢者の交通事故防止の支援策(免許返納者にさーのって号無料バスの発行)

質の高い市民サービスの提供

- ▶ 市役所の窓口ISO9001(サービスの品質管理)の認証取得
- ▶ 休日に市役所の窓口業務の実施
- ▶ 田沼、葛生、赤見地区に自動交付機(印鑑証明・住民票)の設置
- ▶ 新都市バスターミナル駐車場の立体化

子育て支援の拡充・強化

- ▶ 高校3年生まで医療費の無料化へ
- ▶ 第3子以降の児童、生徒の学校給食費の無料化へ
- ▶ 第4子以降が生まれた場合は15万円の子宝祝い金の支給
- ▶ 子ども食堂開設運営補助金の新設

身を切る改革

- ▶ 自らの報酬を3割カット
- ▶ 自らの退職金廃止
- ▶ 多選自粛条例の制定

徹底した移住・定住の促進

強い経済で雇用を増やす

全戸アンケートの実施

プロフィール

寺中町生まれ 田沼在住 植野小・南中・佐野高校卒 明治大学(法)卒
防衛省出身(事務官) 行政書士



無所属

たかぎわ弘幸

昭和31年7月3日生(64歳)

佐野市に新しい風を
~佐野を変えよう~ Let's change Sano!

日本一住みやすい、
住んでみたい佐野

現状維持か変革か!

令和3年4月11日執行

佐野市長選挙選挙公報

佐野市選挙管理委員会

進化する佐野・選ばれる佐野市へ



未来

勇気溢れる「人とのつながり」が新しい未来をつくる

- ・人生100年を見据えた、シニア地域デビュー条例の制定
- ・佐野市スポーツ医科学センターの設立



ひと

あたたかな「人とのつながり」が輝く人をつくり出す

- ・第2子以降保育料の無料化(現在は第3子から)
- ・生徒学生の資格試験の補助《教育子育て20年プラン》



まち

優しさ溢れる「人とのつながり」が希望のまちをつくり出す

- ・コンパクトシティの整備促進(小さな拠点づくり)
- ・歴史・伝統・文化・自然・食等の資源の活用



安心

助け合う「人とのつながり」が心の安心をつくり出す

- ・健康長寿佐野づくり推進条例の制定
- ・障がい児、障がい者、高齢者の支援拠点の整備



産業

新たな「人とのつながり」が挑戦する産業をつくり出す

- ・国際防災拠点の創設及び防災関連企業の誘致
- ・中核企業が佐野に本社移転できる環境を整備

あれからずっと佐野を 考えてきた



詳しくはホームページで

《重点政策》



●新型コロナウイルス感染症対策強化

- ・医療従事者との連携強化
- ・感染症予防の更なる情報発信
- ・ワクチン接種の円滑な体制づくり



●東日本台風被害復旧復興の加速化

- ・堤防強化プロジェクト計画の前倒し
- ・技術センター部の設置
- (土木建築技術職の二元化)



無所属
かねこ
金子ゆたか
昭和三十七年十月八日生(58歳)



無所属
井川かつひこ
昭和32年3月18日生(64歳)

井川克彦(いがわかつひこ)は、「優しさ」と「強さ」をもって、佐野市を改革すると決意しました。わたしが目指す新しい佐野市は、全ての人に笑顔があふれる街です。年齢、性別、国籍を問わず、安心して暮らし、働き、学ぶために。ひとりも取り残さない佐野市のために。一人ひとりの笑顔と共に

新しい時代へ!

- 女性が働きやすくなる。
- 若者が伸び伸びと活躍する。
- 情報が必要な人に伝わる。
- 言葉の壁がなくなる。
- 学びの場所や機会が広がる。
- 医療を受ける人も従事する人も安心する。
- 豊かな自然が守られ、活用される。
- 困っている人としっかり向き合える。

井川克彦が目指す佐野市の姿(笑顔)です。

佐野を笑顔に

経歴 佐野市議会 議員(前議長、県議長会会長、関東議長会副会長、全国議長会理事) ノア外語学院 代表取締役 | 佐野商工会議所 議員(産業経済委員会委員長、金融情報教育部会長) 佐野女子高創立100周年 PTA会長 | 佐野ユネスコ協会 副会長 | 佐野ロータリークラブ会員

ホームページアドレス <https://igawakatsuhiko.com/>

